公益財団法人日本城郭協会 2020年度事業計画

**１．「城郭文化振興に寄与した個人及び団体を顕彰する事業」を創設**

　　当協会が提唱した「日本１００名城」・「続日本１００名城」へのスタンプラリーへの参加者はさらに増加しており、外国人旅行者のお城探訪者の増加と相まって「お城」に対する社会的関心はますます高まっている。

こうした環境を踏まえ、当協会は城郭文化のさらなる振興のための事業として、

２０２０年度に城郭文化振興に寄与した個人・団体を顕彰する制度を創設する。

個人部門では城郭研究分野で功績のあった若手研究者を顕彰する。団体部門では

城郭の保存や発掘や振興に評価の高い団体（城）を顕彰する。

具体的な内容は６月に記者発表する予定。

**２.「会員増強計画―会員増強への取り組み強化・推進―」**

協会の事業や活動を支えてくれる会員の増強は協会の運営の基本活動である。

会員は近年増加しているが、昨年度に引き続き本年度も会員増強に取り組む。

そのための方策として会員交流会の開催など入会者がメリットを感じる企画を

強化・推進する。

また７月と12月を会員増強キャンペーン月間として会員や関係者から紹介の入会者には特典を考えるなど様々な提案をお城ファンにアピールする。

さらに法人会員勧誘にも積極的に取り組む。

そのほか会員サービスの強化の一環として会報の一層の充実を図り、会員からの寄稿欄の拡充や城郭情報収集のための広報協力員の増加を検討する。

協会のホームページは改良して見やすくなったこともあり、協会へのアクセスは

急増している。

２０２０年度は当協会の公認サイト「城びと」と連携してさらに魅力のある

ホームページを目指す。

**３．「日本１００名城スタンプラリー」・「続日本１００名城スタンプラリー」の　運営およびPR強化**

　　２０１８年４月にスタートした「続日本１００名城スタンプラリー」は「日本１００名城スタンプラリー」と相まって多くのお城ファンに支持され、参加者もますます増えている。協会はこれまで参加者の要望をスタンプラリーの運営に反映してきたが、２０２０年度も参加者にとって親切な運営を心掛け、城郭管理者と連絡しながらスタンプ設置場所やスタンプの状態改善などに努力する。

また「日本・続日本１００名城スタンプラリー」自体を知らないお城ファンもまだ多いことからＰＲを一層強化する。

**４、「城の自由研究コンテスト」「親子名城見学会」の継続・強化**

「城の自由研究コンテスト」「親子名城見学会」は児童・保護者さらに教育関係者

からの評価も高く、大きな教育的成果を上げたが、２０２０年度も一層の充実を図る。

「城の自由研究コンテスト」は応募数増加を目指し学校や教員への広報を強化する。また特定の地域を設定して広報展開し効果を見極める。

「親子名城見学会」は開催時期を秋に移行する。

**５．「お城ＥＸＰＯ２０２０」の開催**

２０１６年12月にパシフィコ横浜で初めて開催し評価を得た「お城ＥＸＰＯ」だが、２０２０年度も「お城ＥＸＰＯ２０２０」として１２月１９日、２０日の二日間にわたって開催する。

主催４者「（公財）日本城郭協会・（株）ムラヤマ・（株）東北新社・（株）横浜国際平和会議場（パシフィコ横浜）」による実行委員会の構成は変わらず、より魅力的なイベントを開発展開して、入場者増を図る。

なお２０２０年８月に滋賀県で「出張お城ＥＸＰＯ」の開催を予定している。

**６．「日本城郭検定」及び「EXPO検定」の強化・充実**

日本城郭検定は本年も６月と11月の２回開催とする。６月は受験者の便宜を図り、試験会場を1か所増やし全国で６個所で開催する

「お城EXPO」会場で行っている「EXPO検定」についてはビジュアル的な問題が

好評だが、PR不足との声もあり、広報展開を強化する。

**７．日本城郭協会・花王との共同活動「日本の名城トイレ衛生環境向上活動」の推進**

当協会は２０１８年「花王グループカスタマーマーケティング㈱」と共に「日本の名城トイレ衛生環境向上活動」をスタートさせたが、２０２０年度も引き続き各地の城で「トイレ清掃」の講習などの活動を展開する。

**８．「熊本城復興義援金などの熊本城復興支援事業」を継続**

２０１６年度新設した熊本城復興支援のための「熊本城復興義援金」は２０２０年度も継続し様々な場面で幅広く義援金を募り、復興支援を継続する。

**９．「城郭セミナー及び城郭イベント」の開催**

お城への社会的関心を広げる活動として各県、各市の生涯学習センターと協力して

城郭講座や城郭セミナーの開催を検討、実施する。

**10．「学術委員会の活動強化及び学術委員」の拡充**

学術委員会の活動を強化する。お城ＥＸＰＯの講演企画にも積極的に関与すると共に「日本城郭検定」の問題作成を主導し、検定問題の充実を図る。また当協会の公認

サイト「城びと」へ協力を強化するほか、「城郭講座・城郭セミナー」開催など積極的に対応する。

学術委員に城郭研究者や各城の学芸員を新たに委嘱する。

**11．「ヨーロッパ100名城の調査・研究会」**

「ヨーロッパ100名城」の社会的認知度を高めるための調査研究の旅行企画などを旅行会社と提携して実施を検討する。

**12．「テレビ・新聞・出版物への監修・助言」の体制強化**

テレビ・新聞などマスコミの城郭に関する問い合わせには、学術委員と協力して事務局全体で対応する。また一般の人々からの質問にもきめ細かく回答して感謝されているが、データの整備など体制をさらに充実させる。